

伊賀市議会 だより

No.66
2021.8.1

保育園の跡地の利用
気軽に集える憩いの場



杜の緑と木のぬくもりのカフェ
野菜いっぱいおふくろランチ

杜のカフェ **いこいこ**

史跡芭蕉翁生家の設置及び管理に関する条例の制定

賛成多数で

可決

保存改修工事が完了する史跡芭蕉翁生家を開館します（令和4年4月開館）

質 疑（委員会）

問 和室はどのような利用を想定しているか。**答** 句会など市民に親しまれる施設を想定しています。**問** 赤井家住宅など他施設の駐車料金は無料であるが、有料とするのはなぜか。**答** 駐車台数が少ないので、無料にして長時間駐車された場合、施設利用者が駐車できなくなるので、菟虫庵と同じように料金を設定しました。

討 論（委員会）

継続審査 駐車場料金設定の件など他の施設と一致していない部分があるため、継続審査としたい。

討 論（本会議）

反 対 駐車場料金を徴収することが妥当であるか判断ができない。他の類似施設との違いを極力小さくして、観光客や市民に使いやすい施設となるよう検討してほしい。

第2次伊賀市総合計画第3次基本計画の策定

賛成多数で

可決

伊賀市の目指す将来像を実現するための基本的な理念や政策を示す第3次の基本計画を策定しました

質 疑（委員会）

問 次回の総合計画の策定時には、地域の意見をどのように反映させていくのか。**答** 前回の計画策定時は、中間案でパブリックコメントを実施し、最終案ができた段階で自治協に諮問していましたが、今回はパブリックコメントに合わせて自治協に意見を聞かせてもらうような工夫をしました。

討 論（委員会）

反 対 個別の施策に対して、また、伊賀流自治に対して、合併以降、疑問を持っている。それが底辺にある計画なので反対である。

討 論（本会議）

反 対 この計画は地域にある支所、公民館、図書室という非常に重要な公共サービス機関を廃止・縮小・統合することを前提に作成されたものであり、行政が住民に寄り添い、協働のまちづくりや人材育成を進めるという市の方針に反している。

第4次伊賀市地域福祉計画の策定

全員賛成で

可決

「地域共生社会」を実現するため、本計画を策定しました

質 疑（委員会）

問 重層的支援体制整備事業の実施計画は、いつ頃を予定しているか。**答** 今年度早い段階で策定をしていきます。**問** 今回の計画は、外国籍の高齢者への対応はどのように考えているか。**答** 外国語に翻訳した概要版の作成を検討したいと考えています。

～ひとりひとりが支え合い
つながりあいながら、
いきいきと暮らせるまちづくり～

令和3年度一般会計補正予算

●補正予算（第3号） 3億3,616万8千円の増

全員賛成で
可決

国・県の補助事業の追加・変更に伴う事業費の補正のほか、ひとり親以外の子育て世帯生活支援特別給付金、各公共施設における新型コロナウイルス感染症対策のための改修事業予算の追加

【主なもの】

○子育て世帯生活支援特別給付金給付事業	7,655万円
○新型コロナウイルス感染症対策事業 ゆめぼりすセンター空調設備更新工事、総合福祉会館工事、文化施設改修工事、 神戸地区市民センタートイレ改修、小学校施設改修工事、体育施設改修工事 など	1億6,287万5千円
○岸宏子文学記念館整備事業 公有財産購入費、耐震診断業務委託料	2,223万4千円
○新斎苑建設事業 文化財調査業務委託料、PFIアドバイザー業務委託経費（債務負担行為）	3,635万7千円

附帯決議

この議案に関して、議員から附帯決議が提出されました。

一般会計補正予算（第3号）のうち、岸宏子文学記念館整備事業耐震診断業務委託料323万4千円について、事業の詳細が議会に説明されるまで予算執行を凍結することが可決されました。

附帯決議とは…議案の議決に当たって、その事件についての意見や要望などを付する決議。法的拘束力を有しないが、本会議で可決されることにより、附帯決議の内容は議会の機関意思となる。

附帯決議
賛成多数で
可決

●補正予算（第4号） 2,424万6千円の増

新型コロナウイルス感染拡大の長期化に伴い、生活福祉資金の特例貸付を利用できない世帯に対する支援として、新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金を支給するための予算の追加

全員賛成で
可決

■委員会（所管事務調査）の活動報告■

空き店舗等情報システム整備及びコンサルタント事業について

■産業建設常任委員会■

中心市街地の空き店舗を減少させ、新規店舗数を増加させることで商業の活性化と賑わいの創出を図ることを目的に、令和2年度から3年間行われている当該事業の概要、昨年一年間の成果、課題、今後の方針について、担当部局及び伊賀市中心市街地活性化協議会事務局から説明を受けました。

委員からの意見

- ・所有者が空き店舗の活用に前向きになる機運を作っていく必要があるのではないか。
- ・コンセプトをもっと明確に打ち出すべきである。
- ・まずは小さなエリアに限定して事業を進めてはどうか。
- ・空き店舗を作らないための後継者不足対策等も必要ではないか。

新型コロナワクチン接種について

■教育民生常任委員会■

教育民生常任委員会の所管事務調査として、岡波総合病院と上野総合市民病院のワクチン接種業務について、現地に於て調査を行いました。

ワクチン接種の現場を見学し、ワクチン接種の流れや、接種会場の設営、接種者への対応などについて、担当職員から説明を受けました。



請 願 者 阿波地域住民自治協議会 会長 村上靖尚 ほか 10 名
紹介議員 西條エリ子、西田方計、川上善幸、福岡正康、桃井弘子

請願要旨

- ・ 6 支所の廃止に係る計画案を撤回されたい
- ・ 6 支所の権能や機能を充実されたい
- ・ ひとが輝き地域が輝く「まち」の実現を確実にされたい

質 疑 (委員会)

問 自治協の中でどのような支所を望むという意見があったか。

答 【請願者】防災、福祉の充実を図るための支所が必要であると考えます。身近なことは身近なところで解決できるような支所にしてほしいです。

問 北部地域振興センターは、計画どおり令和 4 年 4 月に設置される予定か。

答 支所廃止案については、見直しが必要であり、現在検討しています。平成 31 年 2 月に公表した案に代わる案を提示したいです。

問 新しい案は、いつ議会と地域へ提案する考えか。

答 7 月の議員全員協議会で取りまとめた案を提示し、7 月末から 8 月にかけて自治協へ説明をしていきたいと考えています。

討論 (委員会 6 月 18 日)

継続審査 北部地域振興センターの計画が未定の状況であること、また、支所、市民センター、公民館などと一体的に議論することが重要である。

【委員会では、継続審査となりました】



討論 (本会議 6 月 28 日)

継続審査に反対

自治基本条例に基づく住民自治協議会が連名 (11 自治協) で請願を提出されるということは重要度が高いと考える。支所廃止の不安に対する代案等も十分になく現在に至っている。この請願は支所廃止案のみに絞り、議会としての結論を出して、次のステップに進んでいくことが重要である。

継続審査に反対

支所のあり方は、地方創生など、伊賀市に関わる重要な問題である。拙速な進め方は将来に禍根が残る。一旦計画案を撤回し、改めて支所のあり方について、市民・行政・議会が十分な議論を行い、合意できるものを作ることを求める請願の趣旨に賛同する。

【本会議では、継続審査が否決され、再度委員会で審査を行いました】



<委員会では、請願を採択すべきものとなりました>

結 果

討論 (本会議 6 月 28 日) 結果: 採択 (賛成多数)

賛成

伊賀市の将来を決める重要な要素を含んでいる。これまでの案を撤回した上で地域とのコミュニケーションを築く必要がある。一日も早く原案の見直しを行い、市民・行政・議会の三者で共に考えていくためには、採択をすべきである。

賛成

支所が廃止されると、人口減少、過疎化がさらに進むという懸念がある。各地域に支所を残してこそ、周辺地域が元気になり、伊賀市が活性化。身近な行政事務・防災の拠点として各支所が役割を果たすことができるよう請願に賛成する。

請願とは…国または地方公共団体の機関に対して意見や希望を述べる。また、地方議会に提出された請願は、所管常任委員会に審査を付託し、その審査の結果を本会議に報告し、議会としての採択、不採択の決定をする。

一般質問

市政を問う

一般質問は、6月14日、15日、16日の3日間で、16人の議員が市の諸問題についての質問をしました。その主なものを掲載しています。
【QRコード】で市議会ホームページから「伊賀市議会チャンネル」(YouTube)をご覧ください。

QRコード▶



上田 宗久 議員

質問項目

- ワクチン集団接種と副反応
- 下水道事業の経営と使用料金などのあり方



問 現役世代のワクチン接種完了はいつになるか見通しをお尋ねします

答 10月末までに終了したいと考えています

集団接種は、7月17日に開始予定で市内7箇所を巡回して、1日最大1,008人を対象に実施予定です。詳細については、決定次第お知らせします。

問 下水道事業経営検討委員会から受けた答申内容を教えてください

多くの下水道施設では、経年劣化が進んでいて改築更新時期を迎えています。そのため有識者などから構成される経営検討委

員会に諮問し、今年3月に答申を受けました。その答申内容をお伺いします。

答 平均1.4倍の増収を図る必要性和、従量制への移行

答申では、現行利用料金の平均1.4倍の増収を図ることと使用料の算定方法について公平性の観点から従量制への移行が望ましいことなど提言をいただいています。なお、条例改正案は激変緩和措置などを考慮しながら今年度中に取りまとめたいと考えています。

森中 秀哲 議員

質問項目

- 地域公共交通の現状と将来像
- 治水対策の現状と洪水時の確実な避難実現



問 高齢化が進む地域でデマンド型など新たな交通サービスを

答 導入の検討を進めます

デマンド型交通について、福祉部局と連携しながら他自治体の導入例など調査しています。「廃止代替バス」後継の選択肢にもできるよう、新たなサービスを令和3・4年度で検討、5年度以降、状況に応じて導入を進めます。

問 大雨の季節です。洪水の被害が心配な地域の対策は

答 洪水想定地域外の場所に迅速な避難を

2年後完成予定の川上ダムにより水が越流堤を越えるおそれは少なくなりますが、地球温暖化などで近年増加する「千年に一度」規模の大雨では、ハザードマップ想定規模の被害が発生するおそれがあります。洪水想定地域外の安全な避難場所を普段から確認し、避難情報により迅速に避難するよう、命を守る行動をとってください。また、今年度に防災情報のシステムを構築する予定です。

百上 真奈 議員

質問項目

- 市営住宅の駐車場管理
- 隣保館、教育集会所等の職員採用
- 児童・生徒の健康と学習権の保障



問 小中学校のトイレに生理用品の常備を

コロナ禍で経済的事情により生理用品が買えない「生理の貧困」が社会問題になっています。経済的貧困、虐待、育児放棄等により、買ってもらえない子どもたちがいるという報道もあります。学校の女子トイレに、女性の必需品である生理用品をトイレットペーパーと同じように常備してください。

答 女子トイレに生理用品を常備します

生理をめぐる不安を取りのぞき、すべての子どもたちが安心して学校生活をおくれ

るよう、女子トイレに生理用品を常備する方向で準備を進めてまいります。

問 多様な性や国際化、健康維持に対応できる制服に

生徒たちが多様性を認め合い自分らしく学べるよう選べる制服にしてください。

答 今後検討を行っていきます

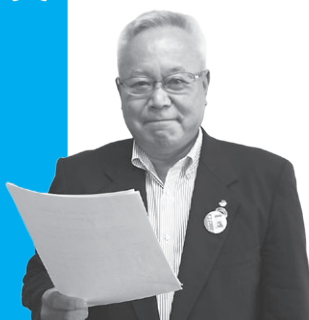
体操服を制服と同等に扱うことも含め、制服のあり方について検討していきます。

一般質問

田中 覚 議員

質問項目

●伊賀市政への信頼度



問 市長のマネジメントを伺います

新型コロナウイルス感染症による影響とその認識、そしてその対応、つまりコロナ後の地域振興について、いくつかの例を挙げて質問します。

1. 市議選・市長選挙の投票率低下
2. 伊賀市の児童・生徒数は10年推計でマイナス1,044人
3. 伊賀地域4月の有効求人倍率0.87倍
4. 伊賀鉄道の経営悪化、利用者マイナス18.6%、収益マイナス25.6%

全ての事象を単にコロナウイルスの影響としてよいのだろうか。また市長の発想は過去の答弁から引用すると、コロナ禍で都市部からの移住の関心が高く、また南海トラ

フの震源地から遠いので、津波の心配のない伊賀市であるなど、楽天的な姿勢に映ります。

答 コロナ禍に責任回避はしていません

コロナの前と今とでは見える世界は変わりませんが、感染症によって社会や価値が変わりました。市民社会の成熟に向かって進んでいきたいと思います。

宮崎 栄樹 議員

質問項目

- 市民に開かれた予算編成
- 公民連携による市民サービス向上と課題解決の推進
- 「お金・モノ・サービス」が回る豊かな地域経済の確立
- 地下水の保全と改正水循環基本法



問 産業振興条例のすみやかな制定を

地域外に生産やモノの供給を依存する経済から、地域内でお金・モノやサービスが循環する、堅実で豊かな地域経済の確立のためには、市長の選挙公約であった産業振興条例の早期制定が必要です。市長の見解を伺います。

答 早く制定することが大事です

前倒しして制定できるかどうか見極めていきます。

問 いがまち地域の井戸枯れの実態把握と対応は

今国会の水循環基本法の一部改正により、地下水の健全な水循環の維持・回復のために、国や自治体において、地下水マネジメントを一層推進することが求められます。いがまち地域では、ある事業所が大規模な地下水取水を行って以降、周辺地域で井戸枯れが起きて困っていると伺います。今後の伊賀市の対応を伺います。

答 適切に対応します

改正水循環基本法に基づき、必要であれば調査や観測を行うなど適切に対応してまいります。

北森 徹 議員

質問項目

- 新型コロナワクチン接種状況
- GIGAスクール構想でのひとり一台タブレットの現状



問 保育士・教職員等への接種は

県の指針で保育士や教職員にも積極的に接種を勧めておりますが伊賀市では。

答 小中学校の教職員、従事者、保育所(園)、幼稚園、認定こども園の職員についてはキャンセル待ち対応だけではいけないと考えています

教育委員会とも、教職員等は夏休み期間中に接種することも含め協議を行っています。

問 伊賀市での大規模接種の実現は

先日、商工会議所や商工会から、伊賀地域で勤務する労働者が安心して働けるよう、ゆめドームうえのなどに、1日あたり1,000人以上が受けられる大規模接種の会場設置の要望が挙がったが、それに対して市の対応をお伺いします。

答 医師会の全面的なご理解、ご協力がなければできません

先生方には、自院の診療がある中で、接種も並行してご尽力いただいています。大規模接種も国体の会場にもなっているので、1回目接種ができて2回目ができません。

一般質問

山下 典子 議員

質問項目

- 労働環境
- 災害からライフラインを守る事前伐採
- 地下水
- 発達支援



問 国の男女共同参画基本計画の達成状況は

社会のあらゆる分野において、2020年までに指導的地位に女性が占める割合が少なくとも30%程度になるよう期待するという目標は達成されていますか。

答 今年4月1日現在の市役所女性職員の管理職登用率は33.2%です

問 ワクチン休暇の導入は

答 導入しました

常勤職員・非常勤職員問わず勤務時間中に新型コロナウイルスワクチンを接種する場

合には、職務専念義務を免除しています。接種後に発熱等の副反応で勤務に支障があると認められる場合には、有給の特別休暇を整備しました。

問 地下水の公水としての認識は

同一の地下水域、帯水層、水脈の地下水流を所有する土地の所有者は、地下水利用について共同で利益を享受しなければならないという観点から地下水を公水と考えるべきでは。

答 私もそのように思います

皆のもの、皆が使うものです。

西口 和成 議員

質問項目

- 伊賀市における産業振興
- 消防団の待遇
- 岡本市政に求められること



問 消防団員の待遇改善が必要ではないですか

全国的に消防団員数の減少、災害の多発化・激甚化、消防団員への負担が増加する中、今年4月総務省から年額報酬標準額(36,500円)、出勤報酬(1日8,000円)など消防団員の処遇等に関する検討会の中間報告及び消防庁長官通知がありました。また、消防団員の装備の充実も求められています。

答 消防団と検討委員会を設置しています

地域の理解を得ながらスピード感をもって協議を進めていきます。

問 市民の声に真摯に耳を傾けることが市長に求められていると思います。例えば18歳成人式について当事者の投書や署名活動をいかがお考えですか

答 民法改正が法令根拠です

(20歳の集いは)自らで開けばいいのではないですか。

問 県政に伊賀の課題を届けるため、知事との1対1対談を行えばいいのではないですか

答 見解の相違です

私とあなたでは価値観が全く違います。

桃井 弘子 議員

質問項目

- 伊賀市指定ごみ袋
- 移動型授乳室
- 三重とこわか国体

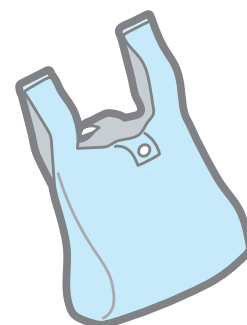


問 伊賀市指定ごみ袋を手提げ型マチ付きに改善すべきでは

伊賀市指定ごみ袋は、くりにくい、持ちにくい等、幅広い年代の方々から使い勝手が悪いと苦情をいただいています。名張市区域指定ごみ袋は、手提げ型で、ごみが多く入るようにマチが付いています。持ちにくく衛生的にも懸念のある伊賀市指定ごみ袋45ℓを名張市区域指定ごみ袋45ℓに入れますと余裕をもって入ります。その上、名張市区域指定ごみ袋はしっかりくることができるので、非常に持ちやすく、かつ衛生的です。ユニバーサルデザインを考慮し、名張市区域指定ごみ袋のように伊賀市指定ごみ袋もマチ付き手提げ型に改善すべきでは。

答 市民の皆様が使いやすいごみ袋に改良します

現在のごみ袋になり7年が経過しているため、見直しが必要だと考えます。見直しに当たっては、ごみ減量リサイクル等推進委員会の意見を伺います。



一般質問

釜井 敏行 議員

質問項目

- さまざま広場の現状と今後
- 伊賀市同和奨学金
- 川上ダム・水道料金



問 今後の同和奨学金・伊賀市奨学金制度のあり方についての市長の考えは

同和問題を解決し、すべての学生の教育機会を保障していくために、同和奨学金を廃止し、伊賀市奨学金に一本化したうえで、伊賀市奨学金の支給要件の緩和と支給額の引き上げが必要だと考えますが、市長の考えはいかがですか。

答 一本化、支給額の引き上げを検討します

かつての被差別地域か、そうでないかに関わらず、困っている人を救うことが行政の役目です。よって、いずれ皆さんのご理

解・ご協力を得ながら同和奨学金と伊賀市奨学金を一本化し、支給額を引き上げるなど、皆さんにしっかり学んでもらえるように検討したいと思います。

問 川上ダム建設事業費の値上げの可能性について市長の認識は

答 出来高払いなのでいくらになるか分かりません

値上げのないよう関係者も努力をしているが、出来高払いであるので、最終的にいくらになるか分からないのは事実です。

近森 正利 議員

質問項目

- 障がい者政策
- 高齢者の移動手段の支援
- 防災・減災対策
- 小中学校給食費の無償化



問 伊賀鉄道のバリアフリー化の現状は

伊賀線を利用する障がい者の運賃割引制度が本年4月より開始しました。平成30年6月議会で伊賀市障害者福祉連盟からの請願が採択され実現しました。今回、精神障がい者の方に対しても同様の割引を実施しています。利用料金の負担軽減はされ利用しやすくなりましたが、駅を利用する際の施設のバリアフリー化の現状をお伺いします。

答 バリアフリー法に適合していない駅があります

新設の四十九駅は、バリアフリー法に適

合した駅として整備を行いました。上野市駅・茅町駅の多目的トイレの未整備やスロープの勾配が基準を満たしていない駅があります。

問 バリアフリー対策の今後の取組は

答 計画に基づき対応していきます

バリアフリー対策には多大な費用が伴うことから、今後も国の方針に即しながら伊賀市地域公共交通計画に基づき対応していく必要があると考えています。

中谷 一彦 議員

質問項目

- 伊賀市未来の山づくり
- ごみ処理一人当たりの年間経費



問 今後の具体的な森林整備の進め方はどのようにされますか

林業の担い手不足などにより、間伐などの適正な管理がなされていない森林が増えています。また、生活様式の変化に伴い里山の荒廃も進んでいることから、土砂災害の危険が増しており、風水害被害を出さないためにも森林の多面的機能の回復が必要です。

答 伊賀市森林環境整備基本計画を作成します

公民が連携し行政団体・林業関係事業者・地域団体等の会員で構成された「伊賀市未来の山づくり協議会」の環境整備部会

が検討を行い、今後の森林環境整備の手法や優先順位の基本方針を定める伊賀市森林環境整備基本計画案を作成しました。今後は提案いただいた基本計画案を伊賀市の計画として位置づけ、森林環境整備を進めていく予定です。

問 ごみ処理一人当たりの年間経費は

答 RDFを終了したため、令和2年度は、12,714円に減少しました

令和元年度の北部地域年間経費は、13,949円、南部地域は、9,352円でした。

一般質問

北山 太加視 議員

質問項目

- 火災に対する備え
- 災害避難経路としても重要な山神橋の架替事業
- 火葬場の利用状況と共同墓地



問 消防水利の整備は十分ですか

今年2月に足利市で大規模山林火災が発生しています。伊賀市の消防水利の整備率は全国平均と比較してどのような水準ですか。

答 全国平均 78.7% に比較して、63.1% です

大規模火災に備え県内外自治体などと応援協定を締結しています。また、総合的に消防力を保持できるよう検討を進めています。

問 避難経路としても重要な山神橋の早急な架替を

答 仮橋機能は周辺橋を迂回路利用としました

いま河川管理者と架替位置等を調整中で、必要な情報は分かりやすく丁寧な説明に努めます。

問 火葬場利用が進んで、今後地域の共同墓地・埋葬墓地の管理が低下する心配は

答 引き続き地域管理が望ましい

墓地台帳によると、墓地は市内に536カ所存在します。4月以降数件の相談を受けましたが、引き続き地域の共同管理が望ましいと考えています。

濱瀬 達雄 議員

質問項目

- 中心市街地活性化



問 旧上野ふれあいプラザへの商業施設誘致の状況は

商業施設で地元の商品を取り扱えるようできないか。

答 旧上野ふれあいプラザについては、「にぎわい忍回廊プロジェクト」と並行して事業者を募集しています

閉鎖後、7事業者から問い合わせがありましたが、まだ正式な提案には至っていません。また、誘致が決まれば地元の商品の取り扱いを事業者に提案します。

問 市民の思いの一步先を見据えたまちづくりは

旧上野ふれあいプラザ2階以上のフロアの活用方法は。

答 中心市街地の交流人口を増やすのに、どんなサービスを提供すればいいのかを考え、賑わいを取り戻すのにみんなで力を合わせましょう

旧上野ふれあいプラザ2階以上のフロアには、クリニックや高齢者施設などの地域の活性化につながるような施設の設置を望んでいます。

西田 方計 議員

質問項目

- 伊賀市の地域振興のあるべき姿とその手法



問 男女共同参画社会づくりをあらゆる分野で

市民意識調査で明らかになった差別の現実をふまえ、差別解消に向けた具体的な目標や方法などを教えてください。

答 市が率先し、地域とともに着実に取り組みを進めます

市職員の採用や管理職登用、農業委員会や自治協役員の女性比率向上などあらゆる分野でルールを定めて将来を見通して取り組みます。

問 自治基本条例に基づいた自治協支援を

条例には市の責務や支所の役割などが明

記されています。しかし、多くの市民が条例のことを知らない実態が「まちづくりアンケート」の結果からも読みとれます。

持続可能なまちづくりを保障するために積極的なはたらきかけが必要ではありませんか。

答 機会を捉え条例の周知を図り、地域振興、自治協支援に取り組みます

自立した地域、それを補完する行政をいっそう目指して、条例を見直す予定です。また、広く条例を周知し、地域振興、自治協支援を推し進めます。

一般質問

福岡 正康 議員

質問項目

- 地域行政と支所のあり方
- 公民館の廃止
- 保育所・保育園のあり方
- 中心市街地の観光施策とインフラ整備



問 公民館廃止後のあり方は

答 各地区市民センターに社会教育支援員を配置します

社会教育支援員は、住民自治協議会の生涯教育活動のサポート等を通じて、地域の活性化に努めます。

問 国は子ども庁設置に向けて準備していますが、伊賀市の保育園民営化の計画の意気込みはどうですか

答 子育て施策の充実に努めます

1期5年の10年計画で、安心安全な保育環境で過ごせるようソフト・ハード両面で考えていきます。

問 中心市街地のインフラ整備としての下水道整備方針を教えてください

答 公共下水道から合併処理浄化槽への方針転換を図り、合併処理浄化槽補助金の増額等を検討しています

単独浄化槽から合併処理浄化槽への転換に伴う補助金の引上げ、単独浄化槽撤去費用・配管工事費用の新設や中心市街地区域の店舗に対する補助金の新設を検討しています。

☆一般質問☆ 本文は、質問者が執筆したものを掲載しています

審議した議案と各議員の賛否

○：賛成 ×：反対 退：退席 除：除斥 ー：採決に入っていない

件名	賛成	反対	議決結果	金井敏行	北山太加視	西條工子	西田方計	濱瀬達雄	増田雄	森中秀哲	川上善幸	北森徹	西口和成	福岡正康	宮崎栄樹	桃井弘子	山下典子	市川岳人	赤堀久美	田中宗久	上田正利	近森一彦	中谷真奈	百上久徳	中岡久徳
請願																									
	支所廃止案の撤回【継続審査】	8：13	否決	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	○	○	×	○
	支所廃止案の撤回【採択】	19：1	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	退
市長提出議案	史跡芭蕉翁生家の設置及び管理に関する条例の制定	19：2	可決	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
	第2次伊賀市総合計画第3次基本計画の策定	18：3	可決	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
議員提出議案	市川岳人伊賀市議会議長に対する問責決議	5：15	否決	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	○	○	除	○	○	○	×	×	×	×
	議案第50号 令和3年度伊賀市一般会計補正予算（第3号）に対する附帯決議【岸宏子文学記念館整備事業 耐震診断業務委託料】	19：2	可決	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○

全員賛成で可決（承認を含む）した議案

市長提出議案	●令和3年度伊賀市一般会計補正予算（第3号） ●伊賀市議会議務活動費の交付に関する条例等の一部改正 ●伊賀市道路の構造の技術的基準等を定める条例の一部改正 ●訴え提起前の和解の申立て ●専決処分の承認（令和3年度伊賀市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）） ●専決処分の承認（令和3年度伊賀市住宅新築資金等貸付特別会計補正予算（第1号）） ●令和3年度伊賀市一般会計補正予算（第4号）	●令和3年度伊賀市病院事業会計補正予算（第1号） ●伊賀市手数料条例等の一部改正 ●伊賀市建築基準法等関係手数料条例の一部改正 ●第4次伊賀市地域福祉計画の策定
議員提出議案	●伊賀市議会会議規則の一部改正	

議員永年勤続表彰

第104回東海市議会議長会定期総会及び第97回全国市議会議長会定期総会において、前伊賀市議会議員 安本 美栄子氏が永年勤続表彰を授与されました。

安本 美栄子氏は、平成7年に旧上野市議会議員に当選され、25年鋭意市政の発展に寄与されました。

議員永年勤続 25年特別表彰 安本 美栄子 氏

新人議員研修会・市政説明会

4月21日・23日・26日～28日

新人議員を対象とした研修会・市政説明会を開催しました。

研修会では、前伊賀市議会議員の安本美栄子さんを講師に迎え、議会人として、市民との関係や行政との関係はどうあるべきか、議決に対する責任をどう果たすかなど、めざす議会のすがたを学びました。

▼新人議員研修会



▲市政説明会

また、市政説明会として、各部等の所管事項や令和3年度の事業概要等について、担当職員より説明を受けました。

公民連携 (PPP・PFI) を活用した公共施設マネジメントに関する勉強会

5月18日

あまめかずし
天米一志さん（国土交通省PPPサポーター）を講師に、公民連携手法等の理解を深めるため、勉強会を開催しました。

公民連携について各地の最近の事例を交えながら説明を受け、伊賀市でも進むにぎわい忍者回廊プロジェクトや新斎苑建設事業について考える機会としました。



市議会議員と地域課題や市政について語り合いましょう

地域意見交換会開催のお知らせ

開催を希望する住民自治協議会と地域意見交換会を開催します。

日時・場所・テーマなどについては、住民自治協議会と調整して決定し、小グループに分かれて意見交換をしていただく予定です。

皆さまのご参加をお待ちしています。詳細は、市議会ホームページをご覧ください。

令和2年度の政務活動費を報告します

- 交付の趣旨** 政務活動費は、地方自治法の規定に基づき、議員が行う調査研究、研修、広報、広聴、住民相談、各種会議への参加等市政の課題及び市民の意思を把握し、市政に反映させる活動その他住民福祉の増進を図るために必要な活動に要する経費に対して交付されるものです。
- 交付対象と額** 請求のあった議員に、半年分一括して交付されます。(月額2万円)
- 報告** 交付を受けた議員は、使途基準に従って支出し、領収書等の証拠書類を添付した収支報告書を議長に提出します。
- 返還** 残額がある場合は、返還します。
- 収支報告書写しの閲覧** 場所：議会図書室(市役所本庁舎5階)
時間：8時30分～17時15分(土・日・祝日、年末年始を除く。)
- ホームページでの公開** 収支報告書は、市議会ホームページでも公開しています。



QRコード▶

令和2年度 政務活動費 議員別収支報告書 (令和2年4月1日～令和3年3月31日)

(単位：円)

議員氏名	交付額	交付対象額	残額	報告内訳				報告額合計
				調査研究費	研修費	資料作成費	資料購入費	
				視察等の調査研究に関する経費	研修会等に参加する経費	活動に必要な資料を作成する経費	図書や資料等を購入する経費	
川上 善幸	240,000	0	240,000	0	0	0	0	0
北森 徹	240,000	0	240,000	0	0	0	0	0
信田 利樹	240,000	0	240,000	0	0	0	0	0
西口 和成	240,000	42,994	197,006	0	0	0	42,994	42,994
福村 教親	240,000	0	240,000	0	0	0	0	0
宮崎 栄樹	240,000	66,714	173,286	0	0	0	66,714	66,714
桃井 弘子	240,000	9,980	230,020	0	9,980	0	0	9,980
山下 典子	240,000	89,841	150,159	0	0	0	89,841	89,841
市川 岳人	240,000	51,966	188,034	0	0	19,800	32,166	51,966
赤堀 久実	240,000	0	240,000	0	0	0	0	0
嶋岡 壯吉	240,000	131,570	108,430	0	9,980	0	121,590	131,570
田中 覚	240,000	240,000	0	300,000	9,980	0	500	310,480
福田 香織	240,000	0	240,000	0	0	0	0	0
森川 徹	240,000	0	240,000	0	0	0	0	0
生中 正嗣	240,000	17,527	222,473	0	0	6,367	11,160	17,527
上田 宗久	240,000	30,330	209,670	0	9,980	19,800	550	30,330
近森 正利	240,000	20,900	219,100	0	0	19,800	1,100	20,900
中谷 一彦	240,000	10,340	229,660	0	7,900	0	2,440	10,340
百上 真奈	240,000	9,600	230,400	0	0	0	9,600	9,600
北出 忠良	240,000	48,196	191,804	0	0	16,720	31,476	48,196
空森 栄幸	240,000	31,476	208,524	0	0	0	31,476	31,476
岩田 佐俊	240,000	0	240,000	0	0	0	0	0
安本美栄子	240,000	89,955	150,045	0	9,980	30,585	49,390	89,955
合 計	5,520,000	891,389	4,628,611	300,000	57,800	113,072	490,997	961,869

※中岡久徳議員は、交付申請がないため掲載していません。

※「広報費」、「広聴費」、「会議費」、「人件費」、「事務所費」については全議員支出がなかったため、掲載していません。

令和3年9月定例会日程（予定）

9月1日（水）	本会議（開 会）
8日（水）	本会議（一般質問）
9日（木）	本会議（一般質問）
10日（金）	本会議（一般質問）
13日（月）	本会議（一般質問）
	終了後 決算常任委員会
15日（水）	予算・決算を除く各常任委員会 （※）決算分科会
16日（木）	予算・決算を除く各常任委員会 （※）決算分科会
17日（金）	予算・決算を除く各常任委員会 （※）決算分科会
22日（水）	決算常任委員会
	終了後 予算常任委員会
10月5日（火）	本会議（閉 会）

- ・すべての会議は、午前10時から始まります。
- ・定例会の日程は、変更になる場合があります。
- （※）決算議案は、総務・教育民生・産業建設のそれぞれ3つの常任委員会委員で構成する決算分科会を設けて、より詳細な審査を行うこととしています。

ご感想をお寄せください

議会だよりや議会のテレビ放送、YouTube をご覧になったご感想やご意見をお寄せください。

郵送 〒518-8501

伊賀市議会事務局

「議会だより感想」宛

TEL 0595-22-9687

E-mail gikai@city.iga.lg.jp

FAX 0595-24-7901

ホームページ <http://www.city.iga.lg.jp>

※伊賀市議会だよりの点字版・録音版を貸出ししています。
希望される場合は、上記までお問い合わせください。



各常任委員会「伊賀市議会チャンネル」(YouTube) 配信スタート!

伊賀市議会チャンネルでは、本会議（定例会）のほかに、令和3年6月議会から、各常任委員会の様子を録画し、YouTube にて配信しています。ぜひチャンネル登録をお願いします。

「伊賀市議会チャンネル」(YouTube) はこちら⇒
(伊賀市議会ホームページ内)



また、市議会本会議等の会議録は、伊賀市ホームページや議会図書室（冊子）でご覧いただけます。

令和3年6月定例会の会議録は9月1日以降となります。



編集 後記

今年度は新シリーズ「笑顔で進む!ココロをつなぐ!」として、地域社会に貢献する取り組みを行っている皆さんを紹介していきます。第1回は、NPO法人「杜のカフェいこいこ」の皆さんを紹介しました。取材しながら、地域で何が求められているのかを察知し、自ら実行していくことの大切さを学びました。こうした地域のインタビューの他、市議会のことが身近に感じられるような読みやすく分かりやすい紙面となるよう努めていきます。

（広報広聴副委員長 山下）

次号は11月1日です

発行：伊賀市議会 編集：伊賀市議会広報広聴委員会

笑顔で進む！ ココロをつなぐ！



伊賀の未来をつなぐ、笑顔で元気な人を、広報小委員がインタビューします。シリーズ第1弾としてNPO法人「杜のカフェいこいこ」メンバーの森下さん、半田さん、柘植さん、岩倉さん取材させていただきました。

—— NPO 法人「杜のカフェいこいこ」を立ち上げたきっかけを教えてください。また、どのような活動をされていますか？

閉園になった旧柘植保育園を利用し、住民が集える憩いの場が欲しいという地域の願いから、地元有志によって平成29年2月17日に設立、12月に「杜のカフェいこいこ」をオープンしました。カフェでは地元食材を使ったリーズナブルなランチを提供しています。

また、地産地消のランチ・カフェのほか、いきいきと暮らしていくために囲碁、生け花、手芸、俳句などのサロンも年間69回開催しています。

—— 今までの活動で苦労したことは何ですか？

オープン時に園舎をカフェに改修した際、施設整備、備品調達など、経費がかかったことや、スタッフの確保に苦労しました。

カフェのメニューやサロンの利用料などは、皆さんが気軽に継続して利用していただけるよう価格を抑えて設定しています。財政的に厳しいところもありますが、地域のために貢献したいという思いで頑張っています。



生け花

—— うれしかったことは何ですか？

「おいしかったわ」「これだけが楽しみやねん」と、お客様からあたたかいお言葉をいただいた時や、お膳が空になっているのを見たらうれしいです。

—— 今後どのような事業をしたいですか？

今後は、栄養バランスのとれたお弁当の配達を通じて、地域の高齢者を安否確認するサービスを行っていきたいです。それには配達スタッフの確保、車の維持等、まだまだ課題があります。

また、経営の健全化を図り、将来的には、後継者育成も考えていかなければと思っています。



調理室

メニュー会議の様子



手作りケーキセット

最後に「杜のカフェいこいこ」からメッセージ

設立から4年経ち、地域の皆様のよりどころとして、カフェもサロンも充実してきました。美味しいランチを用意してお待ちしています！いこいこへ、またきてきて！

(杜のカフェいこいこ お問い合わせ Tel 0595-51-5551)